学校番号	1008

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	(学)英文法演習	2	3	・ランダム演習形式によるクローザー　頻出英文法語問題[改訂版] ・Pair & Share ② ・総合英語 FACTBOOK

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

本授業の目的は２つある。１つ目は様々な文法を使い、幅広い表現を身につけることができることである。そのために、総合英語 FACTBOOK を活用し、専門的な文法表現を習得すると同時に、実践問題としてクローザーを使用し、より深い学びに繋げることができるようにする。２つめに、Pair&Share2 を用いて実際の日常生活で役に立つ会話表現やイディオムなどを習得することである。具体的には、日常生活などについての表現をペア活動等で行う。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第３学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
学習到達目標			相手が話す内容が明確に理解できなかった場合に、状況に応じて的確に聞き返したり、意味を確認したりすることができる。また、自己や社会に関する事柄、場面に応じた日常会話を、身につけた知識及び技能を用いて的確に質疑応答することができる。	自己や社会に関する事柄などの 身近なことについて、与えられた場面や情報に沿って、適切な語句や文を用いるとともに、自分の考えを相手が理解しやすいように、分かりやすく伝えることができる。	自己や社会に関する事柄などの 身近なことについて、与えられた場面や情報に沿って、適切な語句や文を用いるとともに、自分の考えを適切な文法表現で書くことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	英文法の構成や展開及び表現などに関する英語表現を身につけているかを評価する。	日常的や社会的な話題における、コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、情報の処理･要点、書き手及び話し手の意図を的確に理解すること、また自分の考えを適切に表現することができているかを評価する。	聞き手、読み手、書き手に配慮しながら、主体的、自主的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	Step 1 動詞の語法 Step 2 時制 Step 3 助動詞 Step 4 受動態 Step 5 不定詞	話すこと （やり取り）	a: 事柄や話題、場面について、時制・受動態・助動詞・仮定法・不定詞の表現を適切に用いて会話することができる。 b: 事柄や話題、場面について、適切に時制・受動態・助動詞・仮定法・不定詞の表現を用いて相手に自分の考えを伝えることができる。 c: 事柄や話題、場面について、適切に時制・受動態・助動詞・仮定法・仮定法の表現を用いて相手に自分の考えを伝えようとすることができる。	a.パフォーマンス評価、定期考査 b.ルーブリック、定期考査 c.パフォーマンス評価
		話すこと （発表）	a: 自分のことや、身の回りのことについて適切な時制・受動態・助動詞・仮定法・不定詞の表現を使って発表することができる。 b: 自分のことや、身の回りのことについて適切な時制・受動態・助動詞・不定詞・仮定法の表現を使って的確に発表することができる。 c: 自分のことや、身の回りのことについて適切な時制・受動態・助動詞・不定詞・仮定法の表現を使って的確に発表しようとすることができる。	a.パフォーマンス評価、定期考査 b.ルーブリック、定期考査 c.パフォーマンス評価
		書くこと	a: 事柄や話題、場面について、時制・受動態・助動詞・不定詞・仮定法の表現を適切に用いて英文を書くことができる。 b: 事柄や話題、場面について、指定された場面に応じて、時制・受動態・助動詞・不定詞・仮定法の表現を適切に用いて英文を書くことができる。 c: 事柄や話題、場面について、指定された場面に応じて、時制・受動態・助動詞・不定詞・仮定法の表現を適切に用いて英文を書こうとすることができる。	a.パフォーマンス評価 b.ルーブリック c.パフォーマンス評価
	中間考査			
	Step 6 動名詞 Step 7 分詞 比較 Step 9 関係詞 Step 10 仮定法	話すこと （やり取り）	a: 事柄や話題、場面について、動名詞・分詞・動詞の語法・イディオムの表現を適切に用いて会話することができる。 b: 事柄や話題、場面について、動名詞・分詞・動詞の語法・イディオムの表現を適切に用いて相手に自分の考えを伝えることができる。 c: 事柄や話題、場面について、動名詞・分詞・動詞の語法・イディオムの表現を適切に用いて相手に自分の考えを伝えようとすることができる。	a.パフォーマンス評価、定期考査 b.ルーブリック、定期考査 c.パフォーマンス評価
		話すこと （発表）	a: 自分のことや、身の回りのことについて適切な動名詞・分詞・動詞の語法・イディオムの表現を使って発表することができる。 b: 自分のことや、身の回りのことについて適切な動名詞・分詞・動詞の語法・イディオムの表現を使って的確に発表することができる。 c: 自分のことや、身の回りのことについて適切な動名詞・分詞・動詞の語法・イディオムの表現を使って的確に発表しようとすることができる。	a.パフォーマンス評価、定期考査 b.ルーブリック、定期考査 c.パフォーマンス評価
		書くこと	a: 事柄や話題、場面について、動名詞・分詞・動詞の語法・イディオムの表現を適切に用いて英文を書くことができる。 b: 事柄や話題、場面について、指定された場面に応じて、動名詞・分詞・動詞の語法・イディオムの表現を適切に用いて英文を書くことができる。 c: 事柄や話題、場面について、指定された場面に応じて、動名詞・分詞・動詞の語法・イディオムの表現を適切に用いて英文を書こうとすることができる。	a.パフォーマンス評価 b.ルーブリック c.パフォーマンス評価
	期末考査			
2	Step 11 接続し Step 12 疑問視 Step 13 時制の一致 Step 14 否定	話すこと （やり取り）	a: 事柄や話題、場面について、関係詞・接続詞・前置詞・形容詞と副詞のイディオムや語法の表現を適切に用いて会話することができる。 b: 事柄や話題、場面について、関係詞・接続詞・前置詞・形容詞と副詞のイディオムや語法の表現を適切に用いて相手に自分の考えを伝えることができる。 c: 事柄や話題、場面について、関係詞・接続詞・前置詞・形容詞と副詞のイディオムや語法の表現を適切に用いて相手に自分の考えを伝えようとすることができる。	a.パフォーマンス評価、定期考査 b.ルーブリック、定期考査 c.パフォーマンス評価
		話すこと （発表）	a: 自分のことや、身の回りのことについて適切な関係詞・接続詞・前置詞・形容詞と副詞のイディオムや語法の表現を使って発表することができる。 b: 自分のことや、身の回りのことについて適切な関係詞・接続詞・前置詞・形容詞と副詞のイディオムや語法の表現を使って的確に発表することができる。 c: 自分のことや、身の回りのことについて適切な関係詞・接続詞・前置詞・形容詞と副詞のイディオムや語法の表現を使って的確に発表しようとすることができる。	a.パフォーマンス評価、定期考査 b.ルーブリック、定期考査 c.パフォーマンス評価

		書くこと	a: 事柄や話題、場面について、関係詞・接続詞・前置詞・形容詞と副詞のイディオムや語法の表現を適切に用いて英文を書くことができる。 b: 事柄や話題、場面について、指定された場面に応じて、関係詞・接続詞・前置詞・形容詞と副詞のイディオムや語法の表現を適切に用いて英文を書くことができる。 c: 事柄や話題、場面について、指定された場面に応じて、関係詞・接続詞・前置詞・形容詞と副詞のイディオムや語法の表現を適切に用いて英文を書こうとすることができる。	a.パフォーマンス評価 b.ルーブリック c.パフォーマンス評価
	中間考査			
	Step 15 特殊構文 Step 16 名詞 Step 17 冠詞 Step 18 代名詞	話すこと （やり取り）	a: 事柄や話題、場面について、比較・名詞と代名詞の語法・名詞のイディオムの表現を適切に用いて会話することができる。 b: 事柄や話題、場面について、比較・名詞と代名詞の語法・名詞のイディオムの表現を適切に用いて相手に自分の考えを伝えることができる。 c: 事柄や話題、場面について、比較・名詞と代名詞の語法・名詞のイディオムの表現を適切に用いて相手に自分の考えを伝えようとすることができる。	a.パフォーマンス評価、定期考査 b.ルーブリック、定期考査 c.パフォーマンス評価
		話すこと （発表）	a: 自分のことや、身の回りのことについて適切な比較・名詞と代名詞の語法・名詞のイディオムの表現を使って発表することができる。 b: 自分のことや、身の回りのことについて適切な比較・名詞と代名詞の語法・名詞のイディオムの表現を使って的確に発表することができる。 c: 自分のことや、身の回りのことについて適切な比較・名詞と代名詞の語法・名詞のイディオムの表現を使って的確に発表しようとすることができる。	a.パフォーマンス評価、定期考査 b.ルーブリック、定期考査 c.パフォーマンス評価
		書くこと	a: 事柄や話題、場面について、比較・名詞と代名詞の語法・名詞のイディオムの表現を適切に用いて英文を書くことができる。 b: 事柄や話題、場面について、指定された場面に応じて、比較・名詞と代名詞の語法・名詞のイディオムの表現を適切に用いて英文を書くことができる。 c: 事柄や話題、場面について、指定された場面に応じて、比較・名詞と代名詞の語法・名詞のイディオムの表現を適切に用いて英文を書こうとすることができる。	a.パフォーマンス評価 b.ルーブリック c.パフォーマンス評価
	期末考査			
3	Step 19 主語の一致 Step 20 形容詞 Step 21 副詞	話すこと （やり取り）	a: 事柄や話題、場面について、主語と述語動詞の一致・疑問文・重要文法・会話表現を適切に用いて会話することができる。 b: 事柄や話題、場面について、主語と述語動詞の一致・疑問文・重要文法・会話表現を適切に用いて相手に自分の考えを伝えることができる。 c: 事柄や話題、場面について、主語と述語動詞の一致・疑問文・重要文法・会話表現を適切に用いて相手に自分の考えを伝えようとすることができる。	a.パフォーマンス評価、 b.ルーブリック、 c.パフォーマンス評価
		話すこと （発表）	a: 自分のことや、身の回りのことについて適切な主語と述語動詞の一致・疑問文・重要文法・会話表現を使って発表することができる。 b: 自分のことや、身の回りのことについて適切な主語と述語動詞の一致・疑問文・重要文法・会話表現を使って的確に発表することができる。 c: 自分のことや、身の回りのことについて適切な主語と述語動詞の一致・疑問文・重要文法・会話表現を使って的確に発表しようとすることができる。	a.パフォーマンス評価 b.ルーブリック、 c.パフォーマンス評価
		書くこと	a: 事柄や話題、場面について、主語と述語動詞の一致・疑問文・重要文法・会話表現を適切に用いて英文を書くことができる。 b: 事柄や話題、場面について、指定された場面に応じて、主語と述語動詞の一致・疑問文・重要文法・会話表現を適切に用いて英文を書くことができる。 c: 事柄や話題、場面について、指定された場面に応じて、主語と述語動詞の一致・疑問文・重要文法・会話表現を適切に用いて英文を書こうとすることができる。	a.パフォーマンス評価 b.ルーブリック c.パフォーマンス評価
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度